

一般質問



山本洋輔
プロフィール

1990年11月6日
東京武蔵村山市で
生まれる

2006年
立川高校入学

2010年
一橋大学社会学部
入学

2014年
大学を卒業
コンサルティング
会社に就職

2018年
立川市議会議員
選挙に立候補
初当選

厚生労働省
都市計画審議会
委員

特定非営利活動法人
さんぎゅうハウス
理事

【趣味】
旅行、映画鑑賞、読書、
歴史、登山、街歩き
美術館・博物館めぐり

質問 1

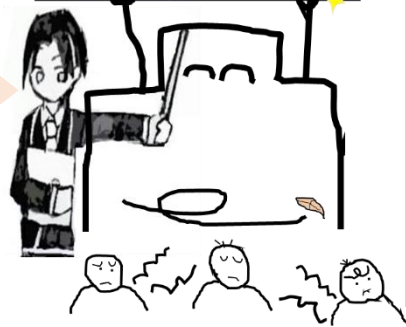
障害者職員採用について、
当事者たちへの周知するよう工夫を！

これまでは：
立川市役所における障害者採用は自力で通勤できることが条件であったり、精神障害者は応募対象外など、厳しい制約がありました！



2018年から

～新・募集要項～
○自力で通えなくてもOK
○精神障害も応募OK！

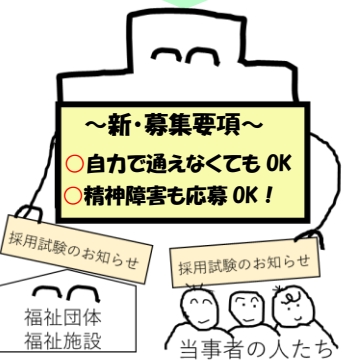


募集要項が改訂されて、門戸が広がったことは評価します！
でもそれを知らない人もいるのでは？
募集要項が変わったことをきちんと当事者の人たちに周知する必要があります！

答弁 1

来年度から周知を図り、工夫していきたい

18年度は16人からの応募があったにも関わらず、採用は1人にとどまっています。したがって応募人数をもっと増やしていきたいと考えています。来年度から指摘の通り、当事者の関係団体等に周知し、より多くの人が応募できるように工夫をしていきたいと思えます。



質問 2

重度障害者就労の支援拡充を！

重度障害者の人が在宅就労する場合、就労時間は「経済活動」とみなされるため、訪問介護等の公的支援の対象外とされてしまいます。しかし重度障害者の生活支援は就労の有無に関わらず必要です。さいたま市では在宅就労の重度障害者に対して就労中であっても介護を受けられる制度があります。立川市でも同様の制度を検討できませんか。

答弁 2

新しい制度は現状考えていない

現状としては新制度の設置は考えていません。当事者等が相談に来られた場合は、関係機関などの紹介を通じて、既存の制度の中で可能な限りの支援をしたいと考えています。

質問 3

フードバンクに支援を！

日本全体における食品廃棄は年間646万トン(参考…国連世界食糧計画(WFP)が途上国へ支援している世界の食糧援助量は年間320万トン)と非常に深刻な状況です。一方、日々の食に困る生活困窮者も近年増加傾向にあります。そのような状況において、フードバンクは非常に費用対効果も大きい事業です。立川市としても是非支援してください。

答弁 3

福祉協議会への橋渡しを継続する

立川市でもイケア等の民間企業から消費期限内の廃棄食品の情報提供を受け、社会福祉協議会へ繋いだりしています。また、緊急的に食料が必要な人に対してはフードバンクを案内するケースもあり、当面はこの対応を継続します。

フードバンクとは

「食料銀行」を意味する社会福祉活動です。まだ食べられるにも関わらず、処分されてしまう食品を困っている施設や人に届ける活動です。

フードバンク立川



山本も応援しています！

ご家庭で余っている食品をください！

条件：消費期限が2ヶ月以上で未開封
お米の場合は生産1年以内
受付窓口：立川市社会福祉協議会
(立川市富士見町2丁目36-47)
受付時間：午前9時から午後7時
(土曜日は午後5時まで)
お問い合わせ先：042-540-0200(地域づくり係)